

真の地方自治を目指して

第13回

## 全国都道府県議会議員研究交流大会

真の地方自治を目指して  
全国都道府県議会議員研究交流大会

第13回

去る11月12日、第13回全国都道府県議会議員研究交流大会が東京で開催され、私は、福岡県議会を代表し、第5分科会の報告者・パネリストとして出席しました。

第5分科会のテーマは「広域自治体としての都道府県議会の改革」であり、コーディネーターは毎日新聞論説委員の人羅格さんも一人のパネリストとして出席しました。分科会では私たち3名の報告の後、1時間半以上



市町村は、明治、昭和、平成と三度の大合併で当初の約40分の1の1700余りに減りましたが都道府県の数はずつと変わらず、実質的に都道府県の位置づけは変化しています。また、都道府県の役割は単独の市町村では処理できない事務とされていますが、具体的な県の守備範囲は漠然としています。商業問題や環境問題は典型的で、消費者や事業者は市町村の境界を

意識せず活動するため、市町村、県、国による二重、三重行政が発生しています。その報告の要旨を掲載します。

市町村は、明治、昭和、平成と三度の大合併で当初の約40分の1の1700余りに減りましたが都道府県の数はずつと変わらず、実質的に都道府県の位置づけは変化しています。また、都道府県の役割は単独の市町村では処理できない事務とされていますが、具体的な県の守備範囲は漠然としています。商業問題や環境問題は典型的で、消費者や事業者は市町村の境界を

意識せず活動するため、市町村、県、国による二重、三重行政が発生しています。その報告の要旨を掲載します。

市町村は、明治、昭和、平成と三度の大合併で当初の約40分の1の1700余りに減りましたが都道府県の数はずつと変わらず、実質的に都道府県の位置づけは変化しています。また、都道府県の役割は単独の市町村では処理できない事務とされていますが、具体的な県の守備範囲は漠然としています。商業問題や環境問題は典型的で、消費者や事業者は市町村の境界を



井本宗司 大野城市長は九州の市町長を代表して自立の会の理事を務められています。

地域を知って、参加して、考えて、伝えて行動する。

## 九月定例議会一般質問

無電柱化の促進について

我が国の国土条件は、地震、津波、台風、洪水、地すべりなど、自然災害に対しうまく対応するためには、多くの尊い人命が失われることとなつた。

また、南海トラフ地震や首都直下地震などによる甚大な被害の発生や、高度経済成長期に整備した社会資本の老朽化による被害の拡大が懸念されている。

このため、既存インフラの耐久化や震災に強いまちづくり等を早急に進め、災害に対する住民の安全と安心を確保することが重要であると考える。

都市の防災機能強化のため、電気、水道などのライフルラインの共同溝化・無電柱化を促進することが大事である。そこで、無電柱化を実施した県内の市町村数と整備延長の状況、併せて知事の所見を伺う。

知事答弁 無電柱化を実施した県内の市町村数については、両政令市、久留米市、大牟田市、



本会議場にて一般質問

新型インフルエンザ対策について

自衛隊福岡病院が有している新型インフルエンザ対策に関するノウハウと発生時の医療提供に関する訓練を知事はどうにとらえているのか。

更に、平成25年6月に道路法が改正され、防災上重要な道路について、区域を指定して、道路の占用を禁止、制限し、無電柱化を促進することが可能となっている。今後は、電線管理者や通信管理者などと福岡県無電柱化協議会の場で協議を進め、防災の観点からも、基幹的な道路について、無電柱化の整備に向けて取り組んでいく。

知事答弁 自衛隊福岡病院は平成21年に新型インフルエンザが発生した際に、速やかに診療体制を整え、感染が疑われる患者の診療を行った医療機関である。県では、これまで、自衛隊福岡病院の関係者に、危機管理に関するノウハウについて聞き取り調査を行うとともに、大規模災害や新型インフルエンザの発生を想定して自衛隊福岡病院が行つた訓練に参加してきた。

自衛隊福岡病院では、危機管理体制として臨時に医療施設を設営する場合において、限られたスペースを有効に活用し、多くの患者に適切な医療を提供するためのノウハウがあることが分かった。具体的には、多くの受診者に応じて、臨機応変に医師、看護師等を配置すること、患者の流れが停滞しないよう、部屋の面積と数をバランスよく確保すること、症状のパターンに応じて薬を処方できるよう準備しておくことなど

## 十一月定例議会一般質問

新型インフルエンザ対策における自衛隊福岡病院との連携について

自衛隊福岡病院が有している新型インフルエンザ対策に関するノウハウと発生時の医療提供に関する訓練を知事はどうにとらえているのか。

立つものであると考える。この訓練は、受診者の容態の急変を想定した医療スタッフの配置の重要性等について改めて認識でき、有意義なものであつたと考える。

の医療施設を設置する場合にも役立つものであると考える。この訓練は、受診者の容態の急変を想定した医療スタッフの配置の重要性等について改めて認識でき、有意義なものであつたと考える。



体育館の臨時医療施設処置室へ移動

地域を知って、参加して、考えて、伝えて行動する。